

# 北本市公共施設等総合管理計画の改訂について

資料 2-2  
将来推計説明資料  
(単価等条件)

## ● 公共施設等の将来の更新費用等の推計 分類別更新単価等

### ・ 現行(2022(R4)年3月改訂)版

用途分類（延床1㎡あたり）	更新	大規模	中規模
市民文化系、社会教育系、行政系、産業系	400千円	250千円	100千円
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉、供給処理施設、その他	360千円	200千円	—
学校教育系、子育て支援	330千円	170千円	83千円
公営住宅	280千円	170千円	—
簡易建築物（小規模倉庫、駐輪場等）	150千円	—	—

道路区分	単価	更新頻度 ※単純更新は15年で統一
分類C路線	8,000円/㎡	15年
分類D路線	6,000円/㎡	30年

橋りょう部材	単価	更新頻度
PC、RC、その他	425千円/㎡	60年※全て60年更新で統一
鋼橋	500千円/㎡	同上

下水道	更新等費用
標準耐用年数更新	4.8億円/年
目標耐用年数更新※標準耐用年数の1.5倍	2.7億円/年

### ・ 改訂案

用途分類（延床1㎡あたり）	更新	大規模	中規模
市民文化系、社会教育系、行政系、産業系	632千円	395千円	158千円
スポーツ・レクリエーション系、保健・福祉、供給処理施設、その他	569千円	316千円	—
学校教育系、子育て支援	521千円	269千円	131千円
公営住宅	442千円	269千円	—
簡易建築物（小規模倉庫、駐輪場等）	237千円	—	—

道路区分	単価	更新頻度 ※単純更新は15年で統一
分類C路線	10,000円/㎡	15年
分類D路線	8,000円/㎡	30年

橋りょう部材	単価	更新頻度
PC、RC、その他	425千円/㎡	60年※全て60年更新で統一
鋼橋	500千円/㎡	同上

下水道	更新等費用
標準耐用年数更新	5.2億円/年
目標耐用年数更新※標準耐用年数の1.5倍	2.6億円/年

● 北本市公共施設等総合管理計画改訂に係る将来更新費用推計の見直しについて

		現行 (2022(R4)年3月改訂)	改訂案 (2027(R9)年3月改訂予定)
①施設更新等単価の見直し			
	ハコモノ	(一財)自治総合センター公表の試算ソフトの単価を使用	工事費等の上昇率を踏まえ、現行の単価の1.58倍
	道路	市の工事实績による C路線：8,000円、D路線：6,000円	市の近年の工事实績による C路線：10,000円、D路線：8,000円
	橋りょう	(一財)自治総合センターがH23.3月に公表した報告書より	新たな算出基準がないため、現行と変更なし
	下水道	北本市下水道ストックマネジメント計画 2020(H31)年2月策定版より	北本市下水道ストックマネジメント計画 2025(R6)年2月改訂版に更新
②施設等更新費用の追加 公園施設		将来費用の試算が煩雑であるとして、算定に含めず	公園施設長寿命化計画（2021年3月策定）より
③延床面積の根拠資料の更新		北本市固定資産台帳（2020年度） 基準日2021年3月31日	北本市固定資産台帳（2024年度） 基準日2025年3月31日 ※暫定

## ● 北本市公共施設等総合管理計画改訂に係る将来更新費用推計の見直しについて

### 1. 公共施設等の将来の更新費用等の見込み（自然体の見込み）

今ある公共施設を法定耐用年数で単純更新し、全ての施設を維持した場合の向こう 40年間 の更新費用を推計

改訂



今ある公共施設を法定耐用年数で単純更新し、全ての施設を維持した場合の向こう 30年間 の更新費用を推計

### 2. 各個別施設計画等の取組を実施した場合の公共施設等に係る費用の試算

- ・ 適正配置計画を実施した場合の対策の実施時期は仮定により設定
- ・ 目標使用年数を設定し、長寿命化のための改修を行う
- ・ 学校施設は2056年度には小学校4校、中学校1校、さらに小学校校舎更新の場合は面積を4割削減と仮定
- ・ 市民活動交流センター2拠点（小学校廃校舎活用）は、更新の場合旧校舎部分面積3割削減、体育館2割削減と仮定
- ・ 体育機能重視型市民活動交流センター2拠点（中学校廃校舎活用）は、更新の場合旧校舎部分5割削減と仮定
- ・ 廃止施設の解体のみの費用、設備(空調など)更新費用、土地売却費は含まない